

# 雪のパラつく中の大晦日 正月は連日快晴でした 本年もよろしくお願い申し上げます！



# 清澄

平成22年1・2月  
合併号

発行所

〒299-5505 千葉県鴨川市  
清澄322-1

© 清澄寺

TEL 04 (7094) 0525番

FAX 04 (7094) 0527番

振替 00140-5-55501

印刷所

天津 (南) プラザー印刷

送料共1部100円

## お知らせ

3月

彼岸会

18~24日

信行会(唱題行)

27日 18:30

4月

度牒交付式

1・2日

開宗会法要

27日 14:00~

報恩唱題行

27日 19:00~

暁天法要

28日 4:50~

### 合掌

今年も、皆様にとって良い年でありますよう心からお祈り申し上げます。

私も清澄寺へ入って三年目を迎えてさせて頂きました。あれもしたい、これにも手を付けたいという気持ちも早っていました。今は、平成三十四年にお迎えする「旭が森日蓮大聖人銅像建立百年」の佳年を慶讃する為の素地作りに専念したいと思っています。

未だ当山にご縁の無かった方々への誘いの実施を行い、一度来られた方々へ又お参りしたいと思っております。努力してまいりたいと思います。

それには、開設予定のホームページに期待を寄せています。宗教にこれまで比較的縁の薄かった世代への

普及を始め幅広い世間層に良い影響を及ぼすことを期待しています。

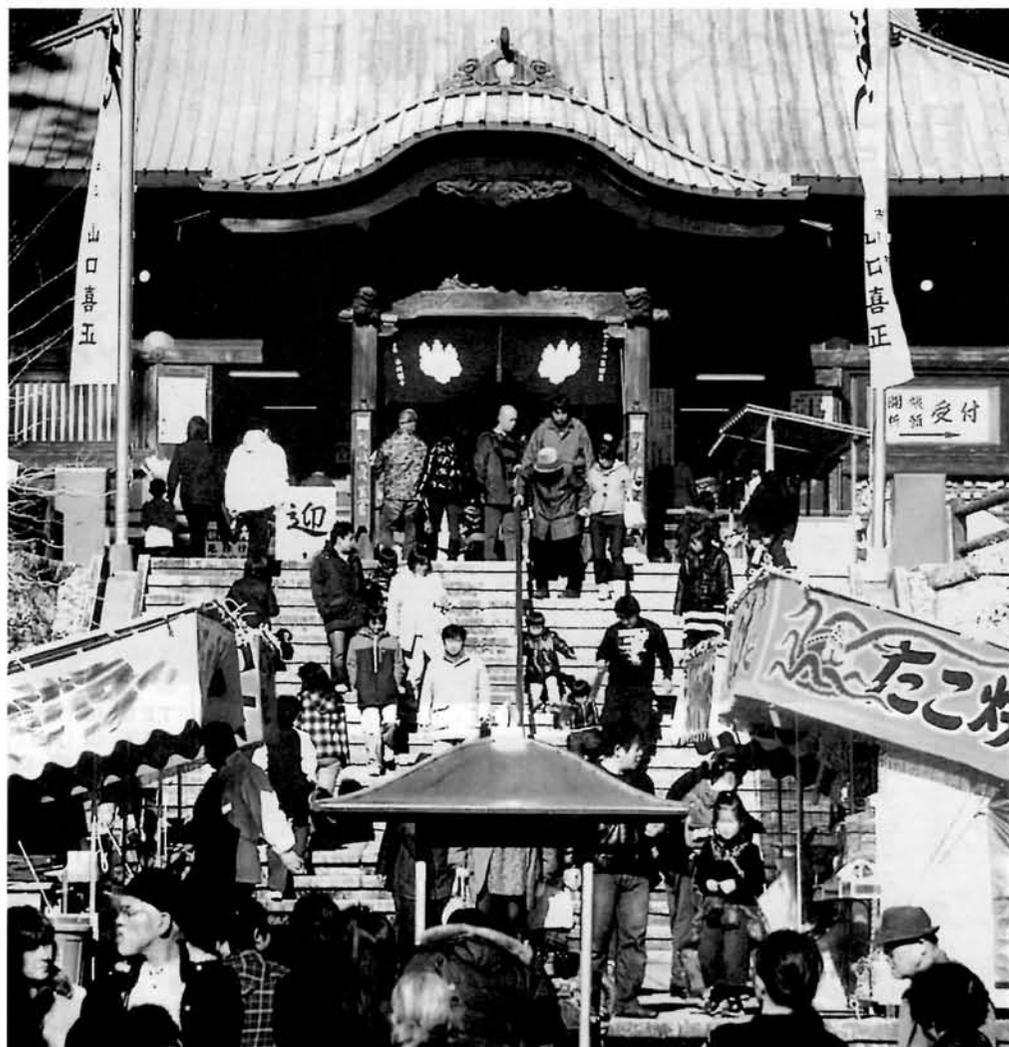
又、山務員、山務職員始め山内に働く者全てに「笑顔の絶えない清澄寺」の印象を来山者の皆様に与えることが出来るよう徹底した教育・指導を施して参りたいと思っています。

実行面としては、少人数の参籠も認め、癒しと安らぎを求めて来られる方に研修会館を開放し幅広く日蓮聖人の立教開宗の息吹きに接しお題目に触れて頂きたいと考えています。

銅像建立百年記念事業に関しては、改めてご挨拶申し上げます。今年も宜しく、お力添え賜りますよう願ひ上げ、新春のご挨拶と致します。

別當 中條 令紹

# 途切れない参拝者



平成二十二年を迎えるにあたり、大晦日からは例年の如く目白押し of 行事を目前に、山内各部署は、おおかたが準備万端となりました。

年越しの参籠者も研修会館に来山され、午後七時から、平成二十一年度に感謝を込めての法要である除夜祭が厳修されました。

法要は別当様を導師に、山務員が出仕。

本堂、続いて祖師堂にて厳修され、参籠の皆さんも参列のもと、それぞれ読経の中、感謝の焼香をされておりました。

その後、年越しにおける慌しさの中にもわずかな静けさが山内に落ち着きをみせておりました。

午後十一時三十五分から本堂前では水行式があるため、十一時頃には境内にぞくぞくと参拝者が集まり始めました。

## 大晦日 元旦

### 水行式

夕方からみぞれになり、汲み置き of 樽水も凍らんばかり of 状況。

夜中 of 水行式 of 頃には雪に変わり、厳しい寒波の中、村田教行主事が水行導師を勤め、山務員 of 大森太朗・松本顕要・小澤玄勇、そして管内より応援に駆け付け



(凍る寸前 of 寒水を被る)

た林洋明の各上人、五名の  
出仕でおこなわれました。  
水行肝文が境内に響くと

参拝者は神妙な面持ちで見  
守り、水行で水しぶきがあ  
がると、境内には歓声が沸  
き上がりました。すぐ後ろ  
にいた方たちは飛沫がかか  
らないようにと後ずさりを  
し始めておりました。

### Ⅱ除夜の鐘Ⅱ

水行が終了すると、まも  
なく除夜の鐘となり、十一  
時五十分、別当様の挨拶  
があり、第一鐘が推鐘され  
ました。



小雪の舞う中、除夜の鐘

続いて片桐有而鴨川市長、  
東島康二鴨川消防団長、今  
野宗郎護山会会長、そして、

参籠者、一般の皆さんの順  
で推鐘がなされました。

### 元旦(一番祈禱)

除夜の鐘が推鐘され続け  
ている中を、時は二十四時  
を迎え平成二十二年度とな  
りました。

本堂ではお参りの皆さん  
が一斉にお賽銭をあげて合  
掌・合掌の光景。  
一方、堂内では新春一番

祈禱の準備がすすみ、宮崎  
総務執事導師のもと、水行  
をされた修法師が出仕をし  
法要が執り行われました。

この一番祈禱では、全国  
から郵送されたご祈願のお  
札が、ご宝前に山のように  
飾られ、更には本堂で受付  
をなされた方々の  
ご祈願読み上げで  
長時間にわたる御  
祈禱の法要でした。  
参拝者は堂内いっ  
ぱいでしたが、広  
いお堂で寒さの中  
を、皆さん今年一  
年の無事平穏をお  
祈りされておしま  
した。

その後、随時ご  
祈禱が夜を徹して  
厳修されておしま  
した。



### 初日の出 ご来光

初日の出の時刻は六時四  
十四分、この時刻はご存知  
のように、簡単には行けな  
い富士山とかを除き全国で  
が一番早い場所になります。  
六時半に研修会館前から  
お題目の玄題旗を先頭に、  
太鼓に合わせ、行列を組ん  
で旭が森へと歩んで行きま  
した。

到着しますと、既に良い  
場所を確保している一般の  
参拝者が大勢おり、行列で  
参加された皆さんを合わせ  
ると旭が森は身動きが出来  
ないまでの状態でした。

(写真左)



別当様導師に佐々木執事  
長、宮崎総務執事、山務員  
出仕のもと、日蓮聖人像に、  
お自我偈を言上、続いて東



方に向かいお題目を一心に  
唱え暁天法要を厳修。  
太平洋上には雲がかかっ  
ておりましたが(表紙写真)、  
参拝者と共にお題目を唱え  
ていますと、雲間からご来  
光が輝き、皆日本一早い初  
日の出に歓喜の声。皆一様  
に写真におさめようとカメ  
ラを向けておりました。  
旭日に祈願をされ、その  
後別当様は皆さんに新年の  
ご挨拶を述べられ暁天法要  
を閉式致しました。

ご来光から帰りますと、引き続き、元旦祝禱会法要を、本堂へ祖師堂と行いました。

この法要後にも、別当様

きよすみ誌広報部

も日中は時々境内に出て、参拝者の様子を記録してはおりましたが、今年は珍しい角度から眺めようと思い、駐車場の様子を山頂から望んでみました。

ガードマンの交通整理によって、次々と入れ替わる大渋滞による乗用車の動きが良くわかりました。

から参列者に親しく新年のご挨拶が述べられました。こうして元旦を迎えましたが、三が日は天候も良く穏やかな日々でした。



参道も人・人・人

# 節分会



係者が参詣され、修法木剱の音が響き渡っておりました。

午前十一時、研修会館前から本堂までお練り行列が執り行われ、到着後別当様導師のもと節分追儺会法要を厳修。

法要後は祖師堂前にて境内一杯の参詣者に豆撒きが行なわれました。

この撒かれる中には福引券が入っており、いろいろな景品が当たるので、参拝者は特別の思いで懸命に取り合っておりました。

その後、研修会館内の特設ステージでは、永井裕子さんの歌謡ショーが大盛況の中行なわれました。

正月気分も抜けきらない一月も半ばには準備をすめる節分会。今年には正月同様、穏やかな天候でした。本堂では早朝より修法師による厄除け祈願や漁業関

# きよすみ

平成二十二年もあけて久しいですが、今年初のきよすみ誌発行となりました。内容はと申しますと、どうも時間的ズレを感じさせられますが、諸般の事情により何卒ご了承の程、お願い申し上げます。

表紙のページには、別当様の長期にわたる所感が述べられました。山務員一同その目標に向かって一生懸命邁進していきたくと思っております。

特に「笑顔の絶えない清澄寺」の印象に關しましては、どしどしご意見を頂きたいと思っております。

皆さまのご意見無くして清澄寺の発展はありえませんで、よろしくお願致します。

